



濁川中だより

〒950-3134

新潟市北区新崎 5437 番地

Tel 025-259-2150

<https://blog.city-niigata.ed.jp/nigorikawa/>

地域と濁中生のキャッチボールを

11・9 シン・ウェルカム 学びの成果を披露しました

今年も新崎自治会長 様より講評をいただきました。

君たちが自主的に、やりたいことをやっているというのが伝わってきた。君たちが関わった企業は、どうして存在しているのか？問いをずっともち続けていくことが大切。防犯、福祉、現実的な話だった。君たちの声を大人が受け取る必要がある。一人の住民として一緒に防犯マップを作り、とんぼ池について考え、より良い濁川をつくっていく。

「シン・ウェルカム」はキャッチボールできるグラウンドだ。これからもキャッチボールを続けていこう。

昨年度までの「ウェルカム参観日」に今年度は「シン」が付きました。親（親しむ）、信（信頼）、深（深める）のねらいをこめて名づけ、4月より取り組んできました。このように評価していただけたことは、私たちの学びの方向を認めていただいたと、大変励みになりました。生徒のレポートで振り返ります。



〈1-1〉 実験ブースのフロアホールを担当しました。

来てくれた人に楽しんでもらえるように工夫しました。当日来てくれた人から「楽しかったよ!」「ありがとう!」などうれしい言葉をかけていただきました。地域のために私ができることをして、貢献していきたいです。



〈1-2〉 輪投げブースを担当しました。お客さんを楽しませるように接客しようと心がけました。これから自分にできることは、行事や勉強に積極的に取り組むことだと思いました。

〈1-2〉 ミートソースパスタを作りました。練習でトマトや玉ねぎの切り方を知ることができました。苦労したことは味付けです。塩コショウの分量に気をつけながら作りました。当日は、だんだん人が増えてきて、いろんな方に食べてもらえてよかったです。



〈1-2〉 マジックショーを担当しました。班のみんなは、あまり関わったことがない人たちだったけれど、この活動を通して関わることができて、このような取組は大切だと分かりました。人前で発表することは緊張したけれど、地域の人たちと関わったりすることができてよかったです。



〈2-1〉 春に、人はなぜ働くのかを考えた時と、職場体験を終えてから考えた時では、見方が変わりました。春は、ただお金を稼ぐためだと思っていたけれど、職場体験を終えてからは、自分の好きなことで社会に貢献できたらいいなという考えに変わりました。実際に体験してよかったなと思いました。



〈2-2〉 保育園で職場体験をして、保育士の大変さを実感しました。保育士は責任が重い仕事ですが、皆さん笑顔で働いていてすごいと思いました。シン・ウエルカムに向けて、保育士の課題は、「感染症を防ぐこと」だと考えて、紙芝居を通して感染症を防ぐということをプレゼンしました。自分の考えをまとめるのは苦労しましたが、納得いくようにできました。



〈3-1〉 防犯グループとして活動しました。どうやったら濁川の防犯力が上がるかを意識して取り組みました。当日は、詐欺対策診断が好評で、頑張ったので嬉しかったです。地域の方から「MAPを引き取りたい」という声をいただきました。地域の方がいなければできなかったのも、感謝したいです。



〈3-1〉 福祉施設に行き、保育や介護について学びました。あいさつなどのコミュニケーションが大切だと分かりました。当日は、年齢関係なく施設で体験したレクリエーションを楽しむことができました。私はこれからも地域の人にあいさつを続け、雰囲気明るくし、地域に貢献していきたいです。



〈3-1〉 防災グループは、災害を自分事として捉えることを目的として活動してきました。区役所の方や防災士さんに協力していただき、防災リーフレットにご意見をもらいました。地域の防災訓練では、ペットの避難について知ることができました。当日は防災クロスロードゲームを通して、色々な価値観や考え方に触れることができました。

〈3-1〉 学年を「結ぶ」、地域と「つなげる」をコンセプトに活動しました。「結ぶ」活動としてスタンプラリー、「つなげる」活動としてクイズラリーの企画、外部へつなげるため、チラシやwebページの作成を行いました。当日は、校内を回り、コンシェルジュとして受付や案内を行いました。社会でも通用する貴重な経験になりました。



〈3-2〉 環境チームでポスター作りを行いました。準備は決して簡単ではなく、企画や役割分担の段階から様々な課題が見つかりましたが、各自が自分の役割を果たしながら一丸となって取り組むことができました。来場者を楽しんでいただけたことで、自信もつながりました。



今年も、新崎伊佐弥神楽保存会の皆様からお出でいただき、舞を堪能ですが、「今まで知らなかった」「見たことがなかった」という生徒もいました。地域を知る貴重な機会となりました。

200名の皆様、ありがとうございました 来場者の感想より

- ・ 学校全体で地域と一体となった素晴らしいイベントだと感じました。各学年で様々な工夫をして、内容もとても充実していたと思います。
- ・ 生徒の元気や明るさが、とても素晴らしかったです。どのブースに行っても気持ちよかったです。主体的な生徒発の活動なのだと思います。継続を楽しみにしています。
- ・ 各役割を“こなす”だけでなく、皆を楽しませる・聴いている人に伝わるように発表する、そして自分達も楽しんでいる様子や積極性が感じられました。中学生が主となった地域との関わりが増えれば、小学生や大人たちにも連鎖して、さらによい濁川になるのではないかと思います。お疲れさまでした！
- ・ 一人ではおかけ屋敷に入れなくてよかったところ、2年の女子が気持ちよく一緒に入って来て、中でも誘導してくれたことは嬉しかったです。
- ・ とても楽しかったし、多くの人が参加してよかったです。行動を早く、説明は大きい声だとよりいいと思いました。
- ・ ポスター、当日の資料など素敵なものでした。地域でも中学生の力を貸してほしいです。
- ・ 地域の行事に積極的に参加して交流を深めていきたいと考えていることに頼もしさを感じました。
- ・ 楽しく過ごせました。物おじせず、もっと前に出る姿勢があったらもっとよかったです。
- ・ 生徒さんの今の感性で地域の課題に取り組ませる学校の姿勢に深く敬意を表します。
- ・ また来年もやってください。私が中学生になったらやりたいです。



新しいことを知ることは、とても楽しいことです PTA教育講演会開催

3年生の さんが、講演会についてこのように話していました。学ぶことへの意欲が伝わってくる素敵な言葉です。新しいことに触れ、興味をもち、問いが生まれ、追究する。自分の世界を広げていくことにつながります。

今回のPTA主催の教育講演会は、どちらも「未来」についての講演でした。

10月31日(木)「未来のためのコミュニケーション」 新潟大学 教職大学院教授 雲尾 周 様



〈生徒の感想より〉

・テストでいい点数だった時、「よく頑張ったね」と努力をほめると伸びていくけれど、「天才だね」と才能をほめるとそれ以上伸びないという例を聞いた時、「言葉」って大切なのだと気づきました。

・僕は今まで挑戦しなかったことがいっぱいありました。確かに挑戦しなければ失敗も成功もしないし、だったら、勇気を出して挑戦をした方がいいと思いました。

11月13日(水) 「高校入試と中学校生活～今と未来を楽しむために～」 NSG 教育研究会 山田 幸司 様 佐々木彬徒 様



〈生徒の感想より〉

・定期テスト、受験勉強、勉強する意味など幅広く考えることができました。受験生の私たちにとって心にグサグサくる言葉が、良い意味で自分を奮い立たせてくれました。分かっているけど勉強できないなど、自分に甘くなる暇があったら勉強したいと思います。

・今までは、高校を決めたからといって大学が決まるとは思っていませんでしたが、高校選びによって大学が阻まれることもあると知り、驚きました。勉強はただするのではなく、「なんでこうなる」など疑問をもち続けることが大切とも知りました。これからはたくさんのことを考え、他者との比較をやめ、些細な事でも感謝していきたいし、親ともいろいろ話し合いたいと思いました。

がんばっています

11月15日(金) 新潟医療福祉大学の学生17名が観察参加実習のため来校しました。保健体育担当の 先生が授業を公開しました。その後、濁川中の地域との関わりや、今年度行われている食育について、教師として大切にしてほしいことなど、講話を行いました。学生たちは真剣な表情で聞き、意欲的に質問をしていました。



11月19日(火) 先生が、初任者研修として、理科の研究授業を行いました。火山が噴火する様子を実験で再現し、材料の割合を変えることで、マグマの粘性と火山の形の関係について考える授業でした。1年2組の生徒たちもいつも以上に張り切って授業に臨み、意欲的に実験を行っていました。

